



堰野端 展雄  
(自民公明クラブ)

## 遠隔死亡診断への対応は

### 規制緩和された場合は 対応していく



多死社会に対応した医療を

る関係団体で南八甲田登山道管理連絡会を組織し、登山道の管理方針や体制について協議しました。七月には猿倉温泉から榎ヶ峰までの登山道両側の刈り払いを行いました。

**議員** 近年、自治体のPRにアニメを活用する事例があるが、当市も取り入れては。

**議員** 猿倉温泉から榎ヶ峰を結ぶルートを初めとする南八甲田登山道の整備状況は。

**観光商工部長** 昨年十二月に策定された十和田八幡平国立公園ステツプアッププログラム二〇二〇では、環境省が実施主体となり南八甲田の登山道管理体制の構築に取り組みることとしています。これに基づき、ことし三月には環境省を初めとす

**議員** 高齢化で多死社会を迎える中で、自宅での看取りを望む患者が多くなっている。国では、自宅や介護施設等で患者が亡くなった際、看護師を通じて遠隔地にいる医師が死亡診断できるように検討しているが、当院の考えは、病院事業管理者 当院では、訪問診療を週二、三回行っており、昨年の自宅での看取り件数は五十五件ありました。厚生労働省では、規制緩和の手段として遠隔死亡診断を含めたガイドラインを作成しているところであり、これが認められた場合は当院も対応していきます。今後ガイドラインが示された際には、診療所や訪問看護ステーション等との連携も必要となることから、当院の役割や対応について検討を進めていきます。

## 発達支援につなげる体制は

### 健診やセルフチェックで 支援につなげている



久慈 年和  
(市民連合クラブ)

**議員** 発達障がい等の乳幼児を早期発見、早期支援する体制は。

**市長** 各乳幼児健康診査では、身体発育、言葉や理解力など精神発達面等を確認しています。その結果、遅れの状況に応じて早

期に支援や相談ができるよう母子保健相談の利用を積極的に勧めており、実施回数や心理判定員等スタッフ配置の充実を図っています。また、三歳児健康診査以降の対応については、九割以上が保育所等を利用しているため、保健師と保育士等が発達支援に関する情報共有や意見交換をしています。今年度からは、五歳児セルフチェックを導入するとともに、五歳児相談を実施しています。



乳幼児健康診査の様子

発達支援相談等につなげる動機づけとするために五歳児のいる全世帯に郵送します。気がかりなことがある場合は、五歳児相談を利用してもらい、特徴に合わせた支援をしていきます。

**議員** 運転免許を自主返納した高齢者が申請した場合にタクシー券等の支援をしているが、年代別の申請状況と希望した支援内容は。

**民生部長** 八月末現在、六十代(六十五歳以上)が三名、七十代が十八名、八十代が二十五名、九十代が三名です。希望した支援内容は、商品券が三十件、タクシー券が十四件、バス券が二件、三種類のうち二つの組み合わせが三件で、いずれも二万円相当分です。

**議員** 月別の申請件数は。

**民生部長** 五月から申請を受付し、五月が六件、六月が十六件、七月が十六件、八月が十一件です。

**議員** セルフチェックの活用方法は。

**健康福祉部長** 保護者自身が記入し成長発達をみずから確認することで、